

事前評価個表

整理番号	5
------	---

地域（地区）名	まべちがわじょうりゅう 馬淵川上流	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岩手県	対象市町村	にのへし 二戸市ほか5市町村
事業実施期間	R6年度～R10年度（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、県の内陸部北部に位置しており、北は青森県、西は奥羽山脈で秋田県に接する6市町村を包括する地域である。</p> <p>本地区の森林面積は186千ha（森林率77%）、対象民有林は134千ha（森林全体の72%）、うち人工林は56千ha（人工林率42%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、8～12 齢級の森林が58%を占めており、森林資源は成熟しつつある一方で、間伐が必要な4～10 齢級の森林が44%を占めており、健全な森林を育成していくためには間伐等の森林整備が必要となっている。</p> <p>林業・木材産業については、スギ、カラマツ等の森林資源を利用した木材加工業が発達しているほか、浄法寺漆<small>じょうぼうじうるし</small>、しいたけ、木炭といった特用林産物の生産も盛んである。また、近隣地域も含め木質バイオマス発電施設の建設・稼働が進み、木材需要が増加していることから、木材の安定供給の確保が求められている。</p> <p>更に近年、国土の保全や水源の涵養<small>かんよう</small>などといった森林の有する公益的機能への県民の関心が高まっており、特に、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、森林の大気中の二酸化炭素の吸収・固定による地球温暖化の防止への貢献が期待されている。</p> <p>本事業は、森林の有する水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能及び木材等生産機能の維持増進を図るため、馬淵川上流地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき森林施業の集約化を図りつつ、意欲と実行力のある林業事業者等による再造林や搬出間伐等の森林整備及びこれらを効率的に推進するために必要な路網整備を一体的に実施するものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：6,010ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：4,916m 林道開設</p> <p>総事業費：3,594,637千円（税抜き 3,267,852千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C = 5.05 （総便益（B）=26,825,643千円、総費用（C）=5,317,095千円）</p>

評価結果	<p>必要性： 本地区は、間伐が必要な齢級の森林が約4割を占めており、森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには間伐等の森林施業を適切に行う必要があるため、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林施業の集約化や路網の整備による効果的かつ効率的な森林整備を推進することとしており、費用便益分析結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 計画的な森林整備により水源涵養や土砂流出防止等の森林の有する公益的機能の維持増進及び路網整備により間伐材の搬出量の増加など、木材の安定供給の確保が図られることが期待されるため、事業の有効性が認められる。</p>
------	--

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

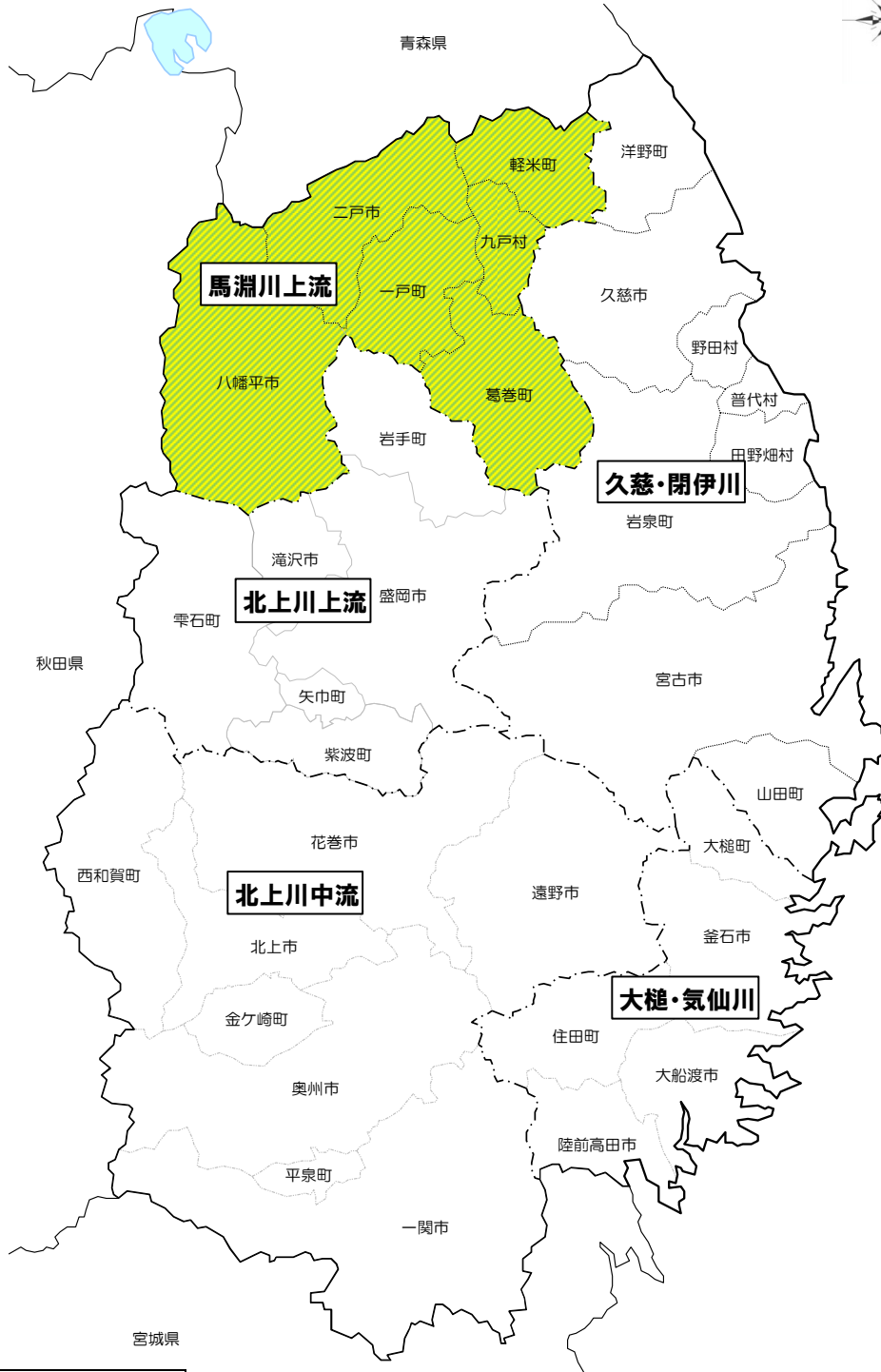
都道府県名：岩手県

地域(地区)名：馬淵川上流

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,735,736	
	流域貯水便益	1,481,797	
	水質浄化便益	5,878,663	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,651,277	
環境保全便益	炭素固定便益	374,619	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	3,130,383	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	573,168	
総 便 益 (B)		26,825,643	
総 費 用 (C)		5,317,095	
費用便益比	$B \div C = \frac{26,825,643}{5,317,095} = 5.05$		

森林環境保全整備事業 馬淵川上流地域(岩手県)概要図



凡例	
	森林計画区界
	事業区域
	森林整備